



子育て支援センター（多久市児童センター内） 電話 0952-37-1117（みんないっしょにいいな）

<7月を迎えました>

田植えが終わった田んぼには、早苗がきれいに列をなして植えられています。水田のある地域では、田植えが終わったこの時期に田祈禱祭（たむぐさい）を行い、田植えが無事に終わった感謝と秋の収穫時期にはよい稲穂ができますようにと祈願をされています。

梅雨明けが待ち遠しいこの頃・・・もうひとしきりの雨が降って、真っ青な空に入道雲が現れるのでしょうか。いよいよ夏の到来、すぐそこまで来ているようです。



<6月に行った行事を紹介します>

●子育て講演会

6月9日（水）、講師に佐賀女子短期大学 大江 登美子 先生をお招きして、「子育て講演会」を開催しました。

先生には、本の読み聞かせと、スタンプ遊びを楽しみながらテーブルクロス、巾着袋づくりを通して、楽しい時間を過ごさせていただきました。

=本の読み聞かせ=

題名「あかまるちゃんとかろまるちゃん」

作・上野 与志 絵・村松 カツ

「わたし、さくらんぼ。」

「ぼく、おたまじゃくし。」・・・で始まりました

=スタンプ遊び=

三角や四角など、いろいろな形のスタンプを押しながら、テーブルクロスや巾着袋を親子で楽しく制作しました。子どもの成長を記録するため、手形や足形を記念に残したり、おばあちゃんのプレゼントにしたいと言ったり・・・

それぞれに思いを込めて、熱心に制作していました。



<子育てアドバイス(初夏の管理)>

●水の事故に注意しましょう

夏はプールの季節です。ビニールプールは7か月くらいから、施設の幼児用プールは3歳くらいからとされています。しかし、子どもがそうしたプールを、いきなり利用するのは心配です。お風呂で少しずつ慣れる練習をしてから臨むのが適切のようです。

●夏風邪に注意しましょう

うっとうしい梅雨と蒸し暑さ。室内では、エアコンのドライや冷房で、夏風邪を引いてしまうこともしばしば・・・エアコンのつけっぱなしは、子どもにとって身体への負担が大きくなります。エアコンの適切な使い方に加え、子どもが汗をかいていたら肌着を着替えるなどして、体温調節を行うのも必要のようです。



<新規来訪者2,000組を超えました>

子育て支援センター「でんでんむし」は、平成28年4月から令和3年5月末までの約4年間の間に、延べ約35,000人の皆様にご利用いただいています。

一方、ご利用いただいた実際の親子の組数が、6月25日（金）に2,000組になりました。

2,000組目にお越しいただいたのは、多久市からお越しの、まゆこお母さんと、りく君の親子です。支援センターとしても、こんなにたくさんの皆様にお越しいただいて、嬉しい悲鳴です。普段からの皆様のご利用に心から感謝申し上げます。



●第3回食育相談会

6月10日（木）に、講師に佐賀女子短期大学の西原由紀先生をお招きし、第3回食育相談会開催しました。食のことでわからないことや悩みなどを相談していただきました。

●はたけへGO!(さつまいもの苗植え)

6月5日（土）と12日（土）・13日（日）の3日間にわたって植えたさつまいもの苗が、こんなに大きくなりました。ご希望の方には、名前を付けて1人1苗で育てていただいています。お申し出ください。

また、そのそばに植えたミニトマトもキュウリもこんなに大きくなりました。これから楽しみです。



今月のメニュー



※全ての講演会、イベントで託児を行っています。

○7月 1日（木）たなばた会

○7月 8日（木）第4回食育相談会

〔講師〕佐賀女子短期大学 助手 西原 由紀 先生

○7月20日（火）第4回お誕生日おめでとう

○7月22日（木）第4回子育て講演会

〔演題〕夏の交流会

～親子でいっしょに遊びましょう～

〔講師〕佐賀女子短期大学 教授 相浦 雅子 先生